

臨床評価指標について

○日本病院会指標

日本病院会指標を参考に計算したデータです。

※「参考」は、日本病院会QIプロジェクトの各年度の報告書の数値を記載（一部、算出定義が当院と異なる場合があります。）

No.	指標	R1(2019)年度				算出定義
		分子	分母	割合	参考	
1	患者満足度（外来）	358	387	92.5%	82.7%	分子：患者満足度調査において、「知人等に紹介や推薦をしたいと思われませんか」という設問に対し、4段階評価中上位2つの評価に該当する回答をした外来患者数 分母：患者満足度調査に回答した外来患者数 除外：当該項目への無回答者
2	患者満足度（入院）	258	266	97.0%	89.9%	分子：患者満足度調査において、「知人等に紹介や推薦をしたいと思われませんか」という設問に対し、4段階評価中上位2つの評価に該当する回答をした入院患者数 分母：患者満足度調査に回答した入院患者数 除外：当該項目への無回答者
3	死亡退院患者率	393	10,044	3.9%	3.5%	分子：死亡退院患者数 分母：退院患者数 除外：DPCで様式1に含まれる「救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）。」
4	入院患者の転倒・転落率	187	127,681	1.46%	2.69%	分子：医療安全管理室ヘインシデントレポートが提出された転倒・転落件数 分母：入院延べ患者数
5	入院患者の転倒・転落率 （65歳以上）	154	89,605	1.72%	3.11%	分子：医療安全管理室ヘインシデントレポートが提出された65歳以上の転倒・転落件数 分母：65歳以上の入院延べ患者数
6	入院患者の転倒・転落による損傷発生率 （損傷レベル2以上）	68	127,681	0.53%	0.70%	分子：医療安全管理室ヘインシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル2以上の転倒・転落件数 分母：入院延べ患者数
7	入院患者の転倒・転落による損傷発生率 （損傷レベル4以上）	1	127,681	0.01%	0.05%	分子：医療安全管理室ヘインシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル4以上の転倒・転落件数 分母：入院延べ患者数

No.	指標	R1(2019)年度				算出定義
		分子	分母	割合	参考	
8	褥瘡発生率	12	10,130	0.12%	0.07%	<ul style="list-style-type: none"> 各年度4月が調査対象期間 分子：調査対象期間のd2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数 分母：入院患者延べ数（人日） 除外： <ul style="list-style-type: none"> 同日入退院患者 調査対象期間及び調査対象期間前3か月の入院患者で入院時にすでに褥瘡保有が記録（d1,d2,D3,D4,D5）されていた患者の調査対象期間の入院日数 調査対象期間前3か月に褥瘡院内発生（d1,d2,D3,D4,D5）が確認され、調査対象期間まで継続して入院している患者の調査対象期間の入院日数
9	紹介率	10,671	13,575	78.6%	62.8%	<ul style="list-style-type: none"> 分子：紹介患者数 分母：初診患者数-(初診救急搬送患者数+休日・夜間の初診救急患者数)
10	逆紹介率	14,664	13,575	108.0%	76.2%	<ul style="list-style-type: none"> 分子：逆紹介患者数 分母：初診患者数-(初診救急搬送患者数+休日・夜間の初診救急患者数)
11	尿道留置カテーテル使用率	21,410	120,250	17.8%	14.8%	<ul style="list-style-type: none"> 分子：毎日特定の時刻にカウントした尿道留置カテーテルが挿入されている患者延べ数（使用日数） 分子からの除外 <ul style="list-style-type: none"> 恥骨上膀胱留置カテーテル コンドーム型カテーテル 間欠的な導尿目的のカテーテル挿入 洗浄目的で挿入された尿道留置カテーテル 分母：入院患者延べ数（対象月に尿道留置カテーテル挿入者がいない病棟を除く）
12	症候性尿路感染症発生率	25	21,410	0.1%	1.9%	<ul style="list-style-type: none"> 分子：分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数 分母：入院患者における延べ尿道留置カテーテル使用日数 除外 <ul style="list-style-type: none"> 恥骨上膀胱留置カテーテル コンドーム型カテーテル 間欠的な導尿目的のカテーテル挿入 洗浄目的で挿入された尿道留置カテーテル
13	救急車・ホットライン応需率	8,343	8,585	97.2%	86.5%	<ul style="list-style-type: none"> 分子：救急車で来院した患者数 分母：救急車受け入れ要請人数 除外 <ul style="list-style-type: none"> 他院からの搬送（転送）人数 ヘリコプターによる搬送（転送）人数
14	インシデント・アクシデント	22,817	416	54.8	44.8	<ul style="list-style-type: none"> 分子：調査期間中の月毎の入院患者におけるインシデント・アクシデント報告件数×100 分母：許可病床数
15	医師が提出したインシデント・アクシデントの割合	0.67	228	0.3%	3.9%	<ul style="list-style-type: none"> 分子：分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数 分母：調査期間中の月毎の入院患者におけるインシデント・アクシデント報告総件数
16	職員のインフルエンザワクチン予防接種率	767	877	87.5%	93.8%	<ul style="list-style-type: none"> 分子：インフルエンザワクチンを予防接種した職員数 分母：職員数
17	18歳以上の身体抑制率	33,468	119,544	28.0%	10.3%	<ul style="list-style-type: none"> 分子：分母のうち（物理的）身体抑制を実施した患者延べ数 分母：18歳以上の入院患者延べ数

No.	指標	R1(2019)年度				算出定義
		分子	分母	割合	参考	
18	退院後 30 日以内の予定外再入院割合	107	9,735	1.1%	-	分子：分母のうち、前回退院から30日以内の救急医療入院症例 分母：退院症例数（DPCで様式1に含まれる症例で転棟、院内出生を除く）
19	退院後 7 日以内の予定外再入院割合	102	9,735	1.0%	-	分子：分母のうち、前回退院から7日以内に計画外で再入院した症例 分母：退院症例数（DPCで様式1に含まれる症例で転棟、院内出生を除く）

○独自指標

No.	指標	R1(2019)年度				定義
		分子	分母	割合	参考	
1	入院患者MRSA感染率	45	10,450	4.3‰	-	分子：MRSA感染症患者数 分母：総入院患者数
2	中心静脈カテーテル関連血流感染（BSI）発生率	7	5,930	1.2‰	-	分子：中心静脈カテーテル関連血流感染（BSI）発生数 分母：中心静脈カテーテル使用日数累計
3	手術部位感染（SSI）発生率	-	-	-	-	分子：手術部位感染（SSI）発生数 分母：手術件数（JANIS対象術式）
4	初期臨床研修医1人あたりの臨床研修指導医数	32	22	1.5	-	分子：臨床研修指導医数（厚生労働省が定めた「医師の臨床研修に係る指導医講習会」の修了者数） 分母：初期臨床研修医の人数

No.	指標	R1(2019)年度	
		実績	参考
5	臨床研究医（後期臨床研修医）数（人）	26	-
6	初期臨床研修医数（たすき掛けを含む）	22	-